

きずな

第62号

2020年9月25日



認知症

キッズサポーター 養成講座



夏休み期間中、児童館を利用している子ども達が、地域包括支援センター職員による認知症キッズサポーター養成講座を受講しました。

講座では、脳に見立てた袋を持ち、脳の重さを体感したり、寸劇を通して認知症の方への接し方を学びました。受講後には、認知症キッズサポーターとして修了証とその証として“オレンジリング”を受け取りました。

CONTENTS

- P2 決算報告
- P3 社協会費のお礼、役員紹介 ほか
- P4,5 ボランティアセンター情報 my・heart
- P6 赤い羽根共同募金のお願い
- P7 相談・お知らせ
- P8 地域ふれあいサロン探訪 ほか

【発行】

～誰もが安心して笑顔で暮らせるまちづくり～



社会福祉
法人

南越前町社会福祉協議会

南条本所 〒919-0227 福井県南条郡南越前町脇本17-38-1
TEL(0778)47-3767 FAX(0778)47-3768

今庄支所 〒919-0131 福井県南条郡南越前町今庄86-5-2
TEL(0778)45-1175 FAX(0778)45-0183

河野支所 〒915-1113 福井県南条郡南越前町甲楽城7-31-1
TEL(0778)48-2260 FAX(0778)48-7100

ホームページ <http://www.shakyo.or.jp/hp/828/>
メールアドレス(代) n-shakyo@mx6.fctv.ne.jp



この広報紙は共同募金の配分金を受けて発行しています。

令和元年度

南越前町社会福祉協議会

決算報告

収支決算の概要 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(単位:円)

収入

会費収入	1,592,400
寄附金収入	250,376
経常経費補助金収入	36,939,050
受託金収入	64,244,971
事業収入	2,211,600
介護保険事業収入	102,292,609
障害福祉サービス等事業収入	117,040
受取利息配当金収入	45,401
その他の収入	290,055
施設整備等補助金収入	643,000
積立資産取崩収入	5,882,390
サービス区分間繰越金収入	8,963,159
前年度繰越金	29,505,084

支出

法人運営事業	49,408,004
基金運営事業	577,905
地域ふれあいサロン事業	2,916,000
配食サービス事業	236,054
福祉総合相談事業	420,000
ボランティアセンター活動事業	56,555
つながりの輪づくり推進支援事業	72,000
地域ぐるみ福祉教育推進事業	70,000
共同募金助成金事業	3,210,589
生活福祉資金貸付事業	394,000
日常生活自立支援事業	381,445
生活支援コーディネート事業	1,260,296
介護予防のつどい事業	2,836,438
児童館管理運営事業	39,325,236
子育て支援センター運営事業	1,101,385
地域包括支援センター運営事業	19,631,910
居宅介護支援事業	17,444,875
ホームヘルプサービス事業	19,739,256
デイサービス事業	93,895,187

収入合計 252,977,135

支出合計 252,977,135

※事業費には、当期末支払資金残高が含まれています。

貸借対照表

令和2年3月31日現在

資産の部

流動資産	43,155,355
小口現金	60,699
預貯金	21,862,074
事業未収金	21,232,582
立替金	0
固定資産	146,747,129
基本財産	3,000,000
その他の固定資産	143,747,129
建物	7,319,438
機械及び装置	1,107,000
車輛運搬具	9,779,888
器機及び備品	2,889,168
ソフトウェア	2,781,302
退職給付引当資産	44,574,200
施設整備積立資産	3,408,000
車輛購入積立資産	4,970,023
備品等購入積立資産	11,620,000
介護保険事業運営調整積立資産	10,000,000
社会福祉基金積立資産	45,298,110
資産の部合計	189,902,484

負債の部

流動負債	20,407,296
事業未払金	8,201,656
未払費用	4,693,530
職員預り金	787,454
賞与引当金	6,724,656
固定負債	44,574,200
退職給付引当金	44,574,200
負債の部合計	64,981,496

純資産の部

基本金	3,000,000
社会福祉基金	45,298,110
国庫補助金等特別積立金	820,425
施設整備積立金	3,408,000
車輛購入積立金	4,970,023
備品等購入積立金	11,620,000
介護保険事業運営調整積立金	10,000,000
次期繰越活動増減差額	45,804,430
純資産の部合計	124,920,988
負債及び純資産の部合計	189,902,484

なお、詳細については最寄りの社協事務所またはホームページ上にて閲覧できます。

南越前町社会福祉協議会

検索

社会福祉協議会 会費へのご協力 ありがとうございました。

一般会費 (2,987件)
1,467,000円

各地区の区長様を通じて皆様にご協力をいただいた会費です。

特別賛助会費 (2件)
15,000円

事業所単位でご協力をいただいた会費です。

- はす工房花里音 様
○ボディショップ高岡 様

賛助会費 (29件)
90,000円

個人の方から一定以上ご協力をいただいた会費です。

皆様にご協力いただきました会費は、社会福祉協議会運営にかかる事業費、ボランティアセンターをはじめとする地域福祉の充実に充てられます。

お取りまとめいただきました区長様、ご協力をいただきました町民の皆様、並びに事業所の方々の温かいご理解とご支援に心からお礼申し上げます。

役員・評議員のご紹介 (敬称略・順不同)

令和2年6月22日現在

会長 上 島 信 敬

理事 今 村 ゆみ子

評議員 小 原 俊 一 中 村 收

副会長 中 村 是 政
笛 吹 喜一郎

西 村 成 男

伊 藤 利 憲 中 村 裕 子

中 村 正 直

宮 下 壽 貴 谷 崎 信 雄

三田村 壽 恵

山 本 修 青 木 輝 美

沢 崎 通 子

酒 井 正 信 寺 下 貢

監 事 山 本 雄 治

上 田 康 彦

山 下 和 明

中 村 隆 夫

第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画 策定年度

『共につむぐ^{ゆい} 結のまち 南越前町』のさらなる飛躍を目指して

前回計画の推進期間が平成28年度から令和2年度までの5か年計画であり、多様化する福祉課題への対応と、現状に即した地域福祉活動を推進するため、新たな計画を策定します。

地域福祉計画	地域福祉活動計画
【策定主体】南越前町	【策定主体】南越前町社会福祉協議会
【法的根拠】 社会福祉法第107条の規定による法定計画	【法的根拠】 法律上の規定なし（社会福祉協議会が策定する民間計画）
【計画内容】 ・福祉サービスの適切な利用の促進 ・社会福祉を目的とする事業の健全な運営 ・地域福祉への住民の参加促進に関する内容	【計画内容】 ・地域福祉の推進 ・住民主体の地域福祉活動の実践内容

南越前町の地域福祉の理念や仕組みを位置づける地域福祉計画と、住民の具体的な行動や活動のあり方を位置づける地域福祉活動計画は、目的を共有しながら策定作業を進めていきます。

アンケート調査や住民懇話会など住民の皆様からご意見をお伺いすることもありますので、ご協力の程よろしく願いいたします。



つながれ！ ボランティアの輪

～県民をつなぐ「おかげさま」と「お互いさま」の輪～

ボランティア育成講座
～防災ボランティア～

家族避難計画を立ててみよう！

日頃から家族で、災害発生時の避難方法や行動を話し合っておくことは大切なことです。いざという時に慌てないように、家族避難計画について学んでみませんか。

日時 10月24日(土) 午前10時～正午
(受付：午前9時30分～)

場所 南条保健福祉センター 多目的ホール
(南越前町脇本 17-38-1)

内容 家族避難計画について
(講義と意見交換を交えながら学びます。)

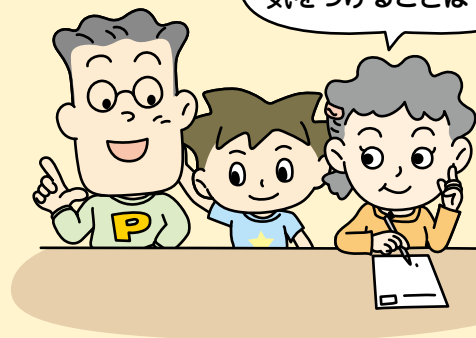
講師 松森 和人氏
(特定非営利法人 まちの防災研究会 理事長)

受講料 無料

申込先 最寄りのボランティアセンターまで
(10月16日(金)メ切)

誰が、どこへ、どうやって
避難するの？

避難する際、
気をつけることは…？



募集

ボランティアで活躍している人・活動を
情報誌で紹介します！



地域で活躍しているボランティア活動を募集します。

地域内で環境美化活動や、子ども・高齢者の見守り活動、福祉施設でのボランティア活動など、ボランティアに取り組んでいる様子や素敵な笑顔(写真)を募集しています。

特にコロナ禍でのボランティア活動では、活動方法や人との関わり方に制限がある中で、工夫を凝らして精力的に活動している内容を募集します。

掲載を通じて、活動紹介や新規活動者の募集に役立てていきます。また、事前にご連絡をいただければ、職員が取材に伺います。掲載ご希望の方は、ボランティアセンターまでお問い合わせ下さい。



南越前町ランティ

9月は
ボランティア月間です

オータム・ウィンター ボランティア体験2020

ボランティア活動を通じて、人との「つながり」や人と人が「支え合う」ことを体感してみませんか。

豊富な活動メニューの中から、興味・関心のあるボランティア活動を選択することができます。この秋・冬に新しいことを始めましょう！

ボランティア
体験期間

令和2年 令和3年
10月1日(木)～1月31日(日)

ボランティア
参加申込期間

令和2年 令和3年
9月1日(火)～1月15日(金)

活動メニュー
の閲覧

福井県社会福祉協議会のホームページまたは
最寄りのボランティアセンターに冊子が設置されています。

申込先

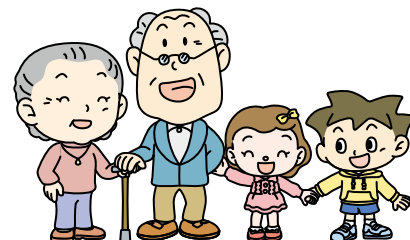
最寄りのボランティアセンターまで



南越前町ボランティアセンター運営委員 募集 (若干名)

南越前町ボランティアセンター運営委員会では、ボランティア活動の推進に向けて活動の幅を広げ、活性化を図るために協議・検討、さらにボランティアスクールなど、実践活動を行っています。

ボランティアに関心のある方、一緒に地域のボランティア活動について考えてみませんか。



●ボランティア活動に関することなら何でも…

南越前町ボランティアセンター ☎47-3767
今庄ボランティアステーション ☎45-1175
河野ボランティアステーション ☎48-2260

開設日／月曜日～金曜日(祝日・年末年始を除く)

開設時間／午前8時30分～午後5時30分

ボランティア登録状況：個人 25名 団体 30団体
(令和2年8月31日現在)

令和2年度



共同募金活動

の実施にあたり

「つながりをたやさない社会づくり」 ～あなたは一人じゃない～

10月1日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動が始まります。また、12月1からは歳末たすけあい運動が実施されます。

今年は新型コロナウイルス感染症の影響から、募金活動の一部内容や方法に変更がありますが、昨年に引き続き、皆様からの温かいご支援ご協力をお願いいたします。



共同募金の趣旨

新型コロナウイルス感染症流行に伴い、人と人が距離を取ること、接触する機会を減らすことが求められています。コロナ禍でのコミュニケーション不足から地域では、孤立、孤独の問題が深刻化しやすい状況にあります。

しかし、地域には、つながりを絶やさないために懸命に活動をしている団体や事業があります。これまで共同募金は、“地域から孤立をなくす”をテーマに活動をしてきました。直接の接触が難しい今だからこそ、つながりを保ち続ける活動を支え続けることが大切です。

地域のつながりを絶やさない事業

● 地域ふれあいサロン事業

身近な公民館や集落センターに集い、社会的孤立の解消や外出機会の確保、介護予防意識の普及啓発を目的としています。

感染予防対策

参加時のマスク着用、消毒、換気などの対策を施しながら事業を実施しています。



● 在宅介護者リフレッシュ事業

在宅においてご家族等を介護している方同士が集い、現在抱えている悩みや不安の解消を目的としています。

感染予防対策

基本的な感染予防対策に加え、時間を短縮して半日のみで実施します。また、例年行っていた昼食を交えながらの情報交換を中止します。



街頭募金活動中止のお知らせ

例年、文化祭会場等で行っております町内の街頭募金活動は、行事の中止と募金者やボランティア活動者の感染リスクから、今年度、見合わせいたします。

令和2年7月豪雨災害義援金を募集しています

義援金 受付場所

南越前町共同募金委員会

南条・今庄・河野事務所（社会福祉協議会事務所に同じ）

義援金名	募集期間	備考
令和2年7月豪雨災害義援金	令和2年12月28日まで	中央共同募金会を通じ各被災県に送金
令和2年7月山形県豪雨災害義援金	令和2年12月28日まで	
令和2年7月豪雨災害義援金（長野県）	令和2年9月30日まで	
令和2年7月島根県豪雨災害義援金	令和2年9月30日まで	
令和2年7月佐賀県豪雨災害義援金	令和2年12月28日まで	
令和2年7月岐阜県豪雨災害義援金	令和2年9月30日まで	
令和2年7月大分県豪雨災害義援金	令和2年12月28日まで	
令和2年7月豪雨災害義援金（鹿児島県）	令和2年12月28日まで	
熊本県南豪雨義援金	令和2年12月28日まで	
令和2年7月福岡県豪雨災害義援金	令和2年12月30日まで	

※昨年、一昨年の災害義援金についても引き続き、共同募金会では受付を行っております。詳しくは、上記受付場所まで。

各種相談 のご案内

※各種相談の秘密は
厳守します。
お気軽にご相談
ください。

◎ 高齢者の方に関わる相談

高齢になってもいつまでも住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、お一人おひとりの暮らしをサポートいたします。些細なことでもお気軽にご相談ください。

南越前町地域包括支援センター

☎47-8009 (役場本庁保健福祉課内)

南越前町社会福祉協議会地域包括支援センター

☎45-1170 (今庄福祉センター内)

☎48-2260 (河野保健福祉センター内)

◎ 無料法律相談 (午後1時～午後4時)

弁護士による法律相談で事前の予約が必要です。

令和2年10月13日(火)、11月10日(火)、12月8日(火)

南条保健福祉センター ☎47-3767

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、相談室確保の観点から令和2年度無料法律相談の全日程を南条保健福祉センターで実施します。

◎ 婦人福祉協議会による 結婚相談 (午後1時～午後3時)



●南条保健福祉センター… 第1・3水曜日、第2日曜日

●今庄住民センター…… 第1日曜日、第3木曜日

●河野住民センター…… 第1・第3木曜日

◎ 福祉・介護のお仕事の不安や悩み

福祉の仕事に関心のある方、福祉分野への就職や転職をお考えの方、職場での仕事内容に不安や悩みのある方を対象に専門員が相談に応じます。

● 窓口相談

福井県社会福祉センター (福井市光陽2丁目3-22)

毎週月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

(夜間相談日) 毎週第2・4木曜日 午後5時～午後8時

夜間相談は要予約 (0776-21-2294)

● 移動相談

ハローワーク武生

(越前市府中1丁目11-2 平和堂アルプラザ武生4階)

第2火曜日 午後1時～午後4時

事業中止のお知らせ

今年度、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、例年開催しております事業の一部を見合わせる事となりました。

何卒、ご理解賜りますようお願いいたします。

【中止する事業】 ※カッコ内は例年開催時期

- ・寡婦のつどい (8月上旬)
- ・一人親家庭のつどい (9月下旬)
- ・身体障害者のつどい (9月下旬)
- ・福祉団体連合スポーツ大会 (10月中旬)
- ・重度身体障害者一日温泉療養事業 (10月下旬)

『福幸レター』募集

福祉現場と県民をつなぐ架け橋

福井県社会福祉協議会では、現在、県民の皆様から福祉・介護・保育の現場で働く人へ「応援」と「感謝」の気持ちを送る、「福幸レター」を募集しています。

寄せられた福幸レターは福祉現場にお届けし、福祉現場からの応答メッセージをさらに県民にお届けすることで、『心でつながる』交流を進めていくものです。

ふくしの現場で働くあの人にメッセージを贈りませんか？

第1弾として、5月中に皆様から寄せられた『福幸レター』と福祉現場からの応答メッセージがホームページ上にまとめられています。

福井県社会福祉協議会

検索

日々のお仕事、大変な中、お疲れ様です。
ありがとうございます。(40歳代)

大切な人たちを守るために職員一同、普段から気をつけなければいけないと感じています。たくさんさんの温かいメッセージありがとうございます。

《児童養護施設》

【一部抜粋】

応募手順

福井県社会福祉協議会のホームページ上からレターフォームをダウンロードし下記のいずれかの方法で送付ください。

(上記方法でのレターフォームの入手が困難な方は、最寄りの社協事務所までお問い合わせください)

〈メールでの送付〉 fukushi@f-shakyo.or.jp

件名に『福幸レター』と記載。

〈郵送での送付〉

〒910-8516 福井市光陽2-3-22

福井県社会福祉協議会 宛

〈FAXでの送付〉 0776-24-8941



◎ 地域ふれあいサロン探訪 ◎



町内サロン実施会場数

南条 : 21会場

今庄 : 27会場

河野 : 9会場

鯖波区



上新道区



上平吹区



大良区



荒井区



共同募金事業 伝達表彰が行われました。

南条地区婦人福祉協議会 様

長年にわたり、同団体の活動の一つとして、共同募金運動にご尽力頂きました。

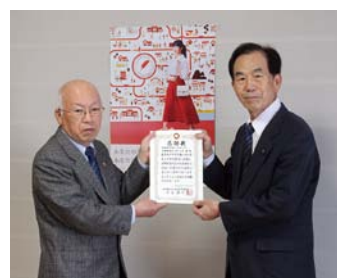
この度、福井県知事より表彰状が贈られました。



南越前町明るい社会づくり推進協議会 様

長年にわたり、歳末たすけあい募金に多額の寄付を納められています。

この度、福井県共同募金会より感謝状が贈られました。



身体障害者寝具洗濯サービス事業のご案内

～障害をお持ちの方が、衛生的な環境で過ごせるよう～

対象者 町内にお住いの身体障害者手帳1級又は、療育手帳A1をお持ちの方。但し、町が行う高齢者対象の同事業を利用していない方に限ります。

利用料金 敷布団 100円 掛布団 100円 毛布 50円
※各種1枚までの料金。2枚目からは実費負担となります。

実施日 【回収】令和2年11月4日(水)
【配達】令和2年11月6日(金)

申込先 最寄りの社協事務所まで

申込締切 令和2年10月23日(金)



編集後記

新型コロナウイルス新規感染者数が6月には一旦落ち着きを見せたものの、7月には再び増加に転じ、引き続き予断を許さない状況が続いております。

このような状況下で、徐々に新たな助け合い支え合い活動が広がりを見せ始めています。その一つ、7頁でお伝えしました『福幸レター』は、県民とふくし現場をつなぐ応援メッセージです。顔が見えなくても、「いつもありがとう」の一文にふくし現場の多くの人々が励まされ、勇気づけられているのではないかと思います。

誰もが困難な状況にある中、このような相手を思いやる温かい言葉の数々に私も胸が熱くなりました。(米野)